

知ってる？ いまばり

開港から90年 今治港

来島海峡に面した今治港は、古くから海上交通の要衝として発展してきました。港の起源は藤堂高虎公が堀に海水を引き込む海城として今治城を築城した際に、その北隅に舟入船頭町を配したことにさかのぼるといわれています。以後、歴代藩主により護岸の整備などが行われていましたが、その規模は限られていました。明治初年には「港の恩人」とたたえられた実業家・飯忠七いひちゅうしちが、航路の開拓から灯台の建設を提唱しています。



港湾ビルを望みます

今治港の整備が大きく前進するのが大正時代のことです。これまで、今治港は水深が浅く、多くの貨物は港外で舢艫はしけによって積み降ろさなければなりません。湾内のしゅんせつ工事も行われてきましたが、規模が小さいため効果が上がらず、また、東北東の風を受けると波浪が高くなることから、近寄るのが困難となり、大規模な防波堤の建設が望まれていました。さらに日露戦争後に伊予ネルの生産が激増し、港で扱う貨物が増えたことを受け、地元の政財界の強い働きかけから、大正8(1919)年、第41回帝国議会で今治開港が決議されました。9(1920)年には今治市市制施行と同時に、今治市の最重要事業として港湾修築工事が始まります。翌10(1921)年には第2種重要港湾に指定され、11(1922)年2月に四国唯一の開港場となり、同時に外国との貿易の証でもある税関(神戸税関今治支署)が設置されました。

その後、今治港は貨物、旅客のターミナルとして発展を続けてきましたが、施設が狭隘きょうがいとなってきたことから、昭和54(1979)年には貨物専用港として蔵敷・鳥生地区を、平成7(1995)年には四国の国際貿易の拠点として富田地区を、新たに今治港として指定しました。

※今年が開港90周年を記念したイベントが計画されています。「広報今治」などで随時お知らせします。

2月主なイベント情報

5日(日)	波方町綱引き大会
ところ	波方町体育館
問合せ先	波方支所地域教育課 ☎0898-41-7111
9日(木)~13日(月)	呉服のえびすざり、えびす市
(13ページをご覧ください)	
11日(土・祝)	弓放し
ところ	喜多浦八幡神社(伯方町)
問合せ先	伯方支所地域教育課 ☎0897-72-1500
11日(土・祝)	姫子島神社弓祈祷
ところ	姫子島神社 (関前・岡村島)
問合せ先	関前支所産業建設課 ☎0897-88-2111
11日(土・祝)・12日(日)	今治ABC(えびす)祭
(7ページをご覧ください)	



表紙×モ

1月15日(日)、波止浜で約270年の伝統を誇る「神明神社の大祭」が行われ、1月のお祭りでは珍しい山車だんじりがお目見えしました。

大祭は地元の住民からは「ヒッチャコチャン」とも呼ばれ、二条の引き綱を手にした小学生らが、「ヒッチャコチャンエイヤナー」と掛け声を掛けながら、町内を練り歩きました。

寒空でのお祭りにも、小学生らは元気に山車を引き、沿道では1年に一度しかお目にかかれない山車を、カメラに収める人の姿がありました。※神明神社山車および祭りは今治市の無形民俗文化財に指定されています。

人口・世帯 (平成23年12月末現在)

人口 169,470人 (前月比116減)
男79,706人・女89,764人
世帯 73,824世帯 (前月比25減)

ダム貯水率 (1月19日現在)

玉川ダム 95.3%
台ダム 93.9%

編集者の ひとりごと



昨年の12月から本庁と各支所では、執務時間前に職員の健康増進のため、朝の体操を行っています。体の硬さでは定評(?)のある㊟は前屈はマイナス50センチを誇ります(笑)。その一方で、そりかえしはそのまま頭がつけるほどで、アンバランスな柔軟性には周囲の人も驚いています。

寒い日々が続きますが、朝の体操は体の「暖機運転」にもつながり、すっかり一日のサイクルに組み込まれています。この朝の体操は平成22年の10月から本庁の2階のワンフロア

で始まったものですが、段々と広がっていきました。職員からは「体調が良くなった」などと好評のようです。

市役所の業務でも、改善が行われています。本庁市民課では、2月1日(水)から、これまで毎週月曜日と水曜日の午後6時までの窓口業務の一部を、午後7時まで時間延長します。※祝休日、年末年始を除く。事前に本庁市民課(☎0898-36-1532 FAX 0898-32-1020)へお問い合わせください。

これは職員の提案から始まったものですが、職場だけでなく、地域、そして家庭でもお互いが前向きな発想で、よりよい関係を築いていければいいなと思っています。㊟

